

「長血の女とヤイロの娘(2)」

§067 マコ5:35~43

1. はじめに

(1) 文脈の確認

- ①イエスの奇跡は、弟子訓練を目的としたものとなった。
- ②この箇所(マコ5:35~43)の奇跡も、弟子訓練という文脈の中で読まねばならない。

(2) 連続して起こる奇跡

- ①自然界の支配
- ②悪霊の追い出し
- ③不治の病の癒し
- ④死者の蘇生

(3) A. T. ロバートソンの調和表

「ヤイロの娘と、イエスの着物を触った女の癒し」 (§67)

マコ5:21~43、マタ9:18~26、ルカ8:40~56

(4) サンドイッチ構造

- ①ヤイロの懇願 → 長血の女の癒し → ヤイロの娘の蘇生
- ②長血の女の登場は、ヤイロにとっては妨害(中断)であった。
- ③しかし、その妨害に意味がある。

2. アウトライン

- (1) 落胆したヤイロへのことば(35~36節)
- (2) 泣き叫ぶ人々へのことば(37~40節)
- (3) 死んだ少女へのことば(41~43節)

3. 結論:

- (1) イエスの弟子訓練の総まとめ
- (2) 3人の弟子たちの訓練

ヤイロの娘の蘇生から学ぶ。

I. 落胆したヤイロへのことば(35~37節)

1. 35節

「イエスが、まだ話しておられるときに、会堂管理者の家から人がやって来て言った。『あなたのお嬢さんはなくなりました。なぜ、このうえ先生を煩わすことがありましょう』」

(1) 娘は亡くなった。

- ① 気温の高いパレスチナでは、葬儀の準備はただちに行われた。
- ② 親に情報を伝える前に、すでに泣き女たちを集める作業を始めていた。
- ③ もう死んだのだから、イエスに来てもらう必要はなくなった。

(2) 会堂管理者ヤイロの心配が現実のものとなった。

2. 36節

「イエスは、その話のことばをそばで聞いて、会堂管理者に言われた。『恐れなくて、ただ信じていなさい』」

(1) 訳文の比較

「イエスは、その話のことばをそばで聞いて」(新改訳)

「イエスはその話をそばで聞いて」(新共同訳)

「イエスはその話している言葉を聞き流して」(口語訳)

- ① 写本の違いが訳文の違いになっている。口語訳の写本が一番よい。
- ② 「Ignoring what they said,」(NIV)
- ③ 無視するとは、聞こえてきたが、関心を示さないということ。

(2) 無視することについて

① 箴4:14~15

「悪者どもの道に入るな。悪人たちの道を歩むな。それを無視せよ。そこを通るな。それを避けて通れ」

② 箴8:33

「訓戒を聞いて知恵を得よ。これを無視してはならない」

(3) 「恐れなくて、ただ信じていなさい」

- ① これは、会堂管理者へのことばである。
- ② 会堂管理者は、長血の女の癒しを目撃した。
- ③ それによって、イエスに対する信仰が強められた。
- ④ イエスは、彼の信仰を励ましたのである。
- ⑤ 彼もまた、信仰の訓練を受けている。

2. 37節

「そして、ペテロとヤコブとヤコブの兄弟ヨハネのほかは、だれも自分といっしょに行くのをお許しにならなかった」

(1) 3人の弟子だけが同行を許された。

- ①ペテロ、ヤコブ、ヨハネ
- ②3人の証人を立てている。

(2) その場に残された人たち

- ①弟子たち9人
- ②群衆

II. 泣き叫ぶ人々へのことば(38~40節)

1. 38~39節

「彼らはその会堂管理者の家に着いた。イエスは、人々が、取り乱し、大声で泣いたり、わめいたりしているのをご覧になり、中に入って、彼らにこう言われた。『なぜ取り乱して、泣くのですか。子どもは死んだのではない。眠っているのです』」

(1) ヤイロの家は喧噪で満ちていた。

- ①泣き女たちが仕事をしていた。
- ②裕福な人の家では、大ぜいの泣き女を雇っていた。
- ③交互に泣き声を上げることもあった。

(2) 「なぜ取り乱して、泣くのですか。子どもは死んだのではない。眠っているのです」

- ①これは、泣き叫ぶ人々へのことばである。
- ②イエスは、少女がこん睡状態にあると言っているのではない。
- ③また、肉体の死と復活の間、魂は眠りの状態にあると教えているわけでもない。
- ④観察者の目から見て、彼女は蘇生するので、眠りから覚めたような状態になる。

2. 40節

「人々はイエスをあざ笑った。しかし、イエスはみんなを外に出し、ただその子どもの父と母、それにご自分の供の者たちだけを伴って、子どものいる所へ入って行かれた」

(1) 少女のいる部屋に入ったのは、少数の者であった。

- ①父と母

②3人の弟子たち

(2) この癒しは私的な空間で行われる。

①イエスのメシア性を証明する奇跡は、公の空間で行われた。

②ここでは、イエスは個人の信仰に答える形で奇跡を行っておられる。

### Ⅲ. 死んだ少女へのことば(41～43節)

#### 1. 41節

「そして、その子どもの手を取って、『タリタ、クミ』と言われた。(訳して言えば、「少女よ。あなたに言う。起きなさい」という意味である)」

(1) イエスは、死体に触れている。

①儀式的汚れの問題を解決している。

②死の問題も解決している。

(2) 「タリタ、クミ」

①これは、アラム語である。

②紀元1世紀の中東では、アラム語とギリシア語は、共通語であった。

③ヘブル語は、ユダヤ人の日常語であった(紀元3世紀頃まで)。

④それ以降、ヘブル語は日常語としての機能を失い、祈りの言葉となった。

⑤19世紀になって、エリエゼル・ベン・イエフダがヘブル語を復活させた。

⑥この時代のユダヤ人は、ヘブル語とアラム語を流暢に話せた。ギリシア語は、個人差があった。

⑦イエスと弟子たちはアラム語を話したとされてきた。

⑧しかし、当時の状況から判断すると、ヘブル語を中心に話したと考えられる。

(3) 少女の状態は、絶望でも、変更不可能でもない。

#### 2. 42～43節

「すると、少女はすぐさま起き上がり、歩き始めた。十二歳にもなっていたからである。彼らはたちまち非常に驚きに包まれた。イエスは、このことをだれにも知らせないようにと、きびしくお命じになり、さらに、少女に食事をさせるように言われた」

(1) 12歳の少女

①結婚前の処女であろう。許嫁がいた可能性が高い。

②希望に満ちた将来が待っているだけに、その死はより一層悲劇的である。

- (2) 癒しは即座に行われた。
- ①少女はすぐさま起き上がり、歩き始めた。
  - ②彼らは仰天した。
    - \*3人の弟子たち
    - \*父と母
- (3) イエスの2つの命令
- ①沈黙せよとの命令
    - \*誤った動機で人々がイエスに近づかないように。
  - ②少女に食事をさせよとの命令
    - \*少女は死から健康体に戻った。
    - \*これは復活の体とは異なる。
    - \*食事によって維持される必要のある体である。

**結論：**

1. イエスの弟子訓練の総まとめ
  - (1) しるし
    - ①イスラエルへのしるしから、弟子たちへのしるしへの変化
  - (2) 奇跡
    - ①信仰のない大衆から、信仰のある個人への変化
    - ②宣伝から、沈黙への変化
  - (3) メッセージ
    - ①会堂や町々での宣言から、沈黙への変化
  - (4) 教え
    - ①明白な教えから、たとえ話による教えへの変化
2. 3人の弟子たちの訓練
  - (1) ペテロ、ヤコブ、ヨハネの3人は特別な訓練を受けた。
  - (2) マコ9:2

「それから六日たって、イエスは、ペテロとヤコブとヨハネだけを連れて、高い山に導いて行かれた。そして彼らの目の前で御姿が変わった」

(3) マコ 14 : 32~33

「ゲツセマネという所に来て、イエスは弟子たちに言われた。『わたしが祈る間、ここにすわっていなさい。』そして、ペテロ、ヤコブ、ヨハネをいっしょに連れて行かれた。イエスは深く恐れもだえ始められた」

(4) 十字架と復活の意味についての訓練

(5) 私的聖書解釈は無視すべきであるが、使徒たちの教えは無視すべきでない。